



左は、昭和48年2月の千歳市公設地方卸売市場オープン時の様子。右は、10月16日に開催された《千歳市場まつり》の写真。

千歳市場は開設50周年

■卸売市場を開設するまで生鮮食料品の小売業者は、札幌や苫小牧方面の仲買人などから仕入れを行っていたことから、消費者にとっては同じ商品にもかかわらず店舗によって価格が大きく違うなど、不利な状況となっていました。また、小売業者からは需要と供給のバランスの取れた安定的な価格で販売する卸売市場の開設を求める声が上がりました。これらのことを受け、市は昭和48年に千歳市場を開設しました。10月16日には開設50周年を記念して市場を開放する《千歳市場まつり》を開催し、大勢の市民にご来場いただきました。時代の変遷とともに流通の仕組みは大きく変わりましたが、市場は、市民の皆様へ《安定的な価格で販売できる生鮮食料品を供給する》という重要な役割を今後も担い続けていきます。

千歳市 公設卸売市場長

しゅだ ちかし
朱田 知志

あのとき、あの場所

瞬きの点景。

SCENERY OF MOMENT

カメラが光を捉えるほんの一瞬。映り込む人物やものごと。千歳ならではの魅力が、残したくなる風景が、そこにある。

千歳市
LINE公式アカウント

LINEで「千歳市」を友だち追加

YouTube
千歳市公式チャンネル
千歳市の動画～ソラタヨ MOVIE～

今月の表紙

子どもがおいしそうに食べているのを見ると、なんだかこちらまで嬉しくなりますよね。認定こども園ひまわりで開催された焼きいも会では、園児たちの「おいしい」、「あっつい」、「もう1個」の声が元気よく響いていました。



■毎月この時期、「一時的に」体重が減ります。駅伝のシーズンだからです。駅伝のテレビ中継を見ていて感じる、自分も走らなければという謎の使命感。ある日突然激しく燃え上がり、すぐに燃え尽きる線香花火のようなこの使命感が、期間限定ダイエットの原動力です。テレビの影響力ってすごい。

菊

■今月は、日本ハムファイターズの元プロ野球選手が教える少年野球教室を取材した。私が少年野球を教わっていた頃とは違い、レベルの高い指導を受けていたが、普通にこなしている子どもたちに驚いた。先日、プロ野球のドラフト会議が行われたが、千歳市からも多くのプロ野球選手が誕生してほしい。

菊